CARMATE
No.0582-0961A

スーパーバリケード

SQ6000

〈取扱説明書・保証書〉

目 次

ページ

はじめに ・・ 4

SQ6000の特長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

警告・注意事項（必ずお読みください） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

内容物・各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

リモコン ・・・ 10

メインユニット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

アンテナユニット・その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

使いかたの基本 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

セキュリティをONにする（ドアをロックする） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

セキュリティをOFFにする（ドアをアンロックする） ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

リモコンのボタン操作を無効にする（キー操作ロック機能）・・・・・・・・・・・・・・ 16

強制的にサイレンを鳴らす（パニックアラーム機能）・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

セキュリティを強制解除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

センサー反応時の動作について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

いろいろな機能を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

セキュリティレベルを切り替える ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

ショックセンサーの感度を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

傾斜センサーの感度を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

イグニッションONセンサーの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

チャープ音（セキュリティON・OFF時のサイレン音）の設定 ・・・・・・・・・ 26

ディレイタイム（センサーONまでの待機時間）の設定・・・・・・・・・・・・・・・ 27

ページ

取付後のメンテナンスなど ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

リモコンIDの登録方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

リモコンの電池交換について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

故障かな?と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

仕　様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

はじめに

このたびは、カーセキュリティシステム・スーパーバリケードSQ6000をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、SQ6000（以下本品という）をご使用頂くためのガイドブックです。
この製品は、車両盗難や車上荒らしから愛車を守るカーセキュリティシステムです。
この製品を正しく安全にご使用頂くために、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にご使用ください。この取扱説明書はお読みになった後も、車検証入れなどすぐに取出せる場所に保管し、ご使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、お役立てください。
また、本品を譲られる場合は、次に使用される方に本書も併せてお渡しください。尚、誤った取付、使用による事故、破損などの責任は一切負いかねます。

※本品使用中に、万一取付車に盗難等の被害が発生しても、当社補償は一切ありません。

注意事項の定義

この取扱説明書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。
各々の定義（意味）を充分に理解された上で、お取扱いください。

⚠危険	重大事故が起こる状況のもの
⚠警告	人体に対し、危険が生じる恐れのあるもの
⚠注意	物品を破損、故障させたり、セキュリティ能力の低下につながるもの
⚠禁止	法律に違反する恐れのあるもの
参考	取付、取扱において知っていると有益な情報

SQ6000の特長

■セキュリティレベル選択

使用環境に応じた4つのセキュリティレベルがリモコンで簡単に切替できます。

・NORMAL・・・全てのセンサーを使用する標準設定モード。
・ROAD・・・往来の激しい道路付近など、傾斜センサー・ドアセンサー・イグニッションONセンサーで監視を行なうモード。
・TOWER・・・立体駐車場など、ドアセンサー・イグニッションONセンサーで監視を行なうモード
・VALET・・・センサーを全てOFFにし、スターターカット機能のみ働かせる場合に使用する「バレーモード」。

■ドアロック連動機能

セキュリティのON・OFFに連動してドアロック・アンロックが可能。乗降時のスマートなコントロールが実現しました。

※適合車種のみ

■8音色120dB大音量サイレン

「いざ」という時、頼りになる大音量サイレンを装備。コンパクトなので隠匿性も高く、危険を周囲にしっかり知らせます。

■わかりやすい小型液晶リモコン採用

本体やリモコンの設定状態をわかりやすく表示します。また、セキュリティレベルやセンサー感度などの複雑な設定も、視認しながら操作できるためとても簡単です。

■防犯LED機能

アンテナユニット内蔵の赤色LEDが点滅することで、車上狙いなどの犯罪者を心理的に威嚇し、防犯効果を発揮します。

■電子式2段階ショックセンサー

ショックセンサー（微衝撃センサー・高衝撃センサー）は高性能の電子式。最新のセンシング技術をふんだんに採用し、誤作動を極限まで低減しました。

■デジタル傾斜センサー

クルマの傾きを検知する傾斜センサーは、坂道駐車でも使用可能。3軸方向のセンシングにも対応しています。

■ドアセンサー標準装備

ドアの不正開放を検知するドアセンサーを装備。
犯罪者の車内への侵入を防ぎます。

■イグニッションONセンサー搭載

乗り逃げを防ぐため、セキュリティON中にイグニッションがONになるとセンサーが反応します。

■その他の機能

誤作動キャンセル機能
パニックアラーム機能
警報メモリー機能
誤操作防止（キー操作ロック）機能
スペアリモコン対応
防犯ステッカー付属
電波法適合品
盗難保険対象商品

※詳細は別紙をご覧ください。

警告・注意事項（必ずお読みください）

警告事項

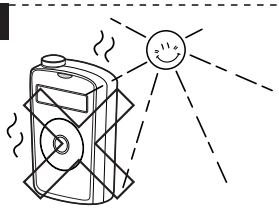
⚠警告

リモコンは、お子様の手が届かない場所に保管してください。
誤操作による事故の恐れがあります。

⚠警告

お子様やペットなどを車内に残したままで、使用しないでください。
事故の恐れがあります。

⚠警告



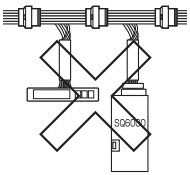
リモコンは、直射日光の当たる場所・車内・暖房器具の近く等、
高温になる場所で、保管または使用しないでください。
リモコンが高温になりやけどや故障の原因となります。
特に、車のダッシュボード上は非常に高温となりますので、絶対に
放置しないでください。

⚠警告

運転中に本品の操作をしないでください。
事故の原因になります。

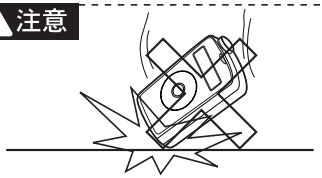
注意事項

⚠注意



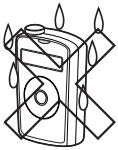
ターボタイマー（スターター）や盗難警報機類との
併用取付けはしないでください。
誤作動の原因となります。

⚠注意



リモコンを床に落としたり硬いものにぶつけたりしないでください。
故障の原因となり、リモコンでの操作ができなくなる場合が
あります。

⚠注意



リモコンは直接水のかかる場所や湿気の多い場所で、保管
または使用しないでください。
故障の原因となり、リモコンでの操作ができなくなる場合が
あります。

⚠注意

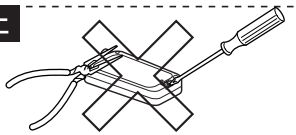
長時間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておいて
ください。
故障の原因となります。

⚠注意

製品が汚れた場合は、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をよく
絞ってから拭き、乾いた布でもう一度拭いてください。
ベンジン、シンナー等の化学薬品は、絶対に使用しないで
ください。 変形・変色や故障の原因となります。

禁止事項

⚠禁止



この製品は、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けて
おります。分解したり、改造することは、法律で禁じられておりま
すので、絶対にしないでください。

⚠禁止

製品に貼付の技術適合証明ラベルをはがしたり、ラベルのない
ものを使用することは、法律で禁じられておりますので、絶対に
しないでください

⚠禁止

この製品は、日本国内の電波法に適合しています。国外での使用は、
違法となる場合がありますので、おやめください。

警告・注意事項（必ずお読みください）

参考 電波到達距離は、周囲の環境や使用状況により異なります。車と送信場所との間に障害物等がある場合には、電波到達距離が短くなります。

参考 極まれに、本品と純正のキーレスエントリーの電波が干渉し、キーレスエントリーの作動距離が極端に短くなる場合があります。その場合は、弊社サービスセンターまでご連絡ください。

参考 本品のそばで大出力の無線機等を使用すると、無線機の発する電磁波により、誤作動や未作動の原因となる場合があります。

参考 本品の2段階ショックセンサーは、車体に与えられた衝撃をセンサーが感知しますが、車両の違いや取付状態の違いにより、感知する衝撃は変化します。取付後に必ず感度調整を行ってください。

参考 本品のスターターカット機能は、車種別専用ハーネスで取付けた場合のみ機能します。 従って、車種別専用ハーネスの設定のない車種（外車など）や、付属の電源コードで取付けた場合は、スターターカット機能は使用できません。

内容物・各部の名称

ページ

リモコン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

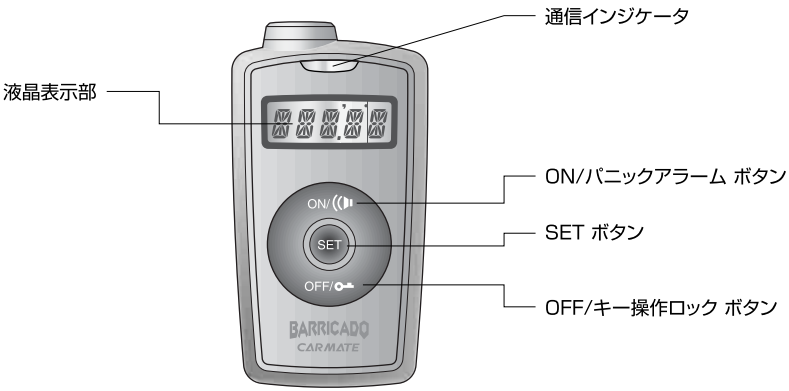
メインユニット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

アンテナユニット・その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

内容物・各部の名称 ①

リモコン（1ヶ）

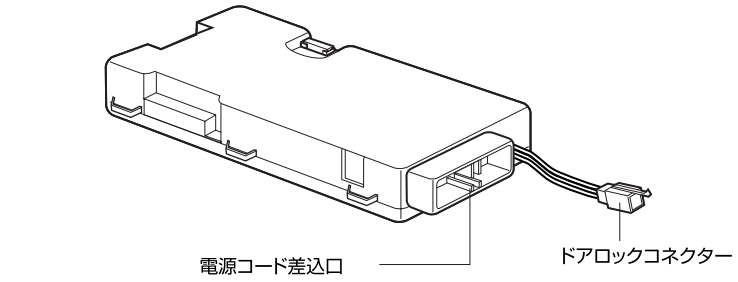
セキュリティのON/OFFはもちろん、さまざまな設定も行なえます。



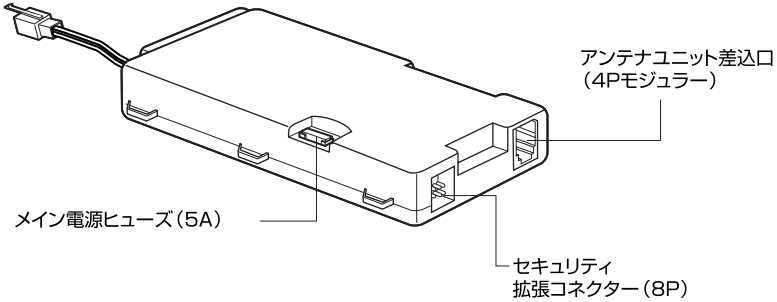
内容物・各部の名称 ②

メインユニット（1ヶ）

▼電源コード



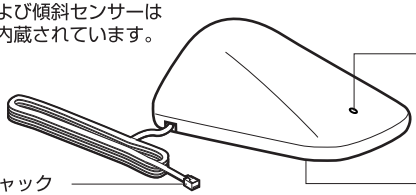
▼アンテナユニット側



内容物・各部の名称 ③

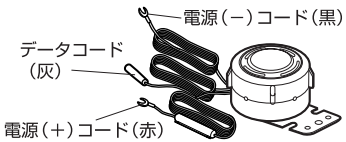
アンテナユニット（1ヶ）

ショックセンサーおよび傾斜センサーは
アンテナユニットに内蔵されています。

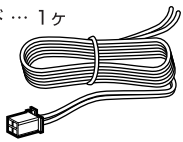


その他付属品

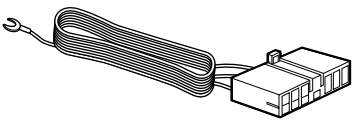
●8音色サイレン … 1ヶ



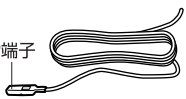
●ドアロックコード … 1ヶ



●電源コード … 1ヶ

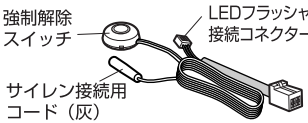


●ドア検出コード … 1ヶ



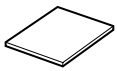
●防犯ステッカー … 1枚
後部座席の窓に貼り付けます。

●セキュリティ拡張コード … 1ヶ

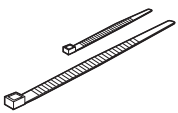


●ワンタッチコネクター … 青3ヶ・赤3ヶ
ドアロックコードなどの配線に使用します。

●両面テープ … 2枚
サイレンおよびアンテナユニットの取付けに
使用します。



●結束バンド …小 5本
大 1本
配線の結束やメインユニット
の固定などに使用します。



●ストラップ … 1ヶ
リモコンをキーホルダーなどに
付ける際に使用します。

●取扱説明書（本書）・取付マニュアル・
かんたん操作ガイド … 各1部

使いかたの基本

ページ

セキュリティをONにする（ドアをロックする） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

セキュリティをOFFにする（ドアをアンロックする） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

リモコンのボタン操作を無効にする（キー操作ロック機能）・・・・・・・・・ 16

強制的にサイレンを鳴らす（パニックアラーム機能）・・・・・・・・・・・・・・ 17

セキュリティを強制解除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

センサー反応時の動作について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

セキュリティをONにする(ドアをロックする)

解　説

本品はリモコン操作によって簡単にセキュリティのON/OFFが行なえます。
ここでは、セキュリティをONする場合の操作方法を解説します。

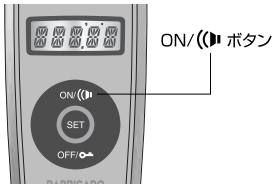
手　順

※設定状態によって表示内容は異なります。

① リモコンの『ON/ ((』ボタンを「カチッ」と押して離します。

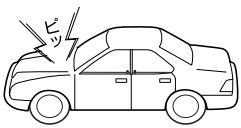
参考 ポケットの中などでの誤操作を防止するため、短時間（0.2秒未満）のボタン操作や複数ボタンの同時押しは受け付けません。

参考 3秒以上『ON/ ((』ボタンを押し続けると、パニックアラーム機能（→P17）が作動しますのでご注意ください。



② 液晶表示部に次のような表示が行なわれます。

③ 同時に本体のサイレンが「ピッ」と鳴り、セキュリティがONになります。
ドアロック配線を行なっている場合はドアがロックされます。



これでセキュリティがONになりました。

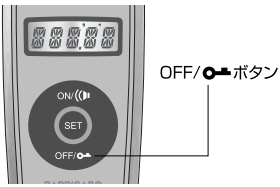
セキュリティをOFFにする(ドアをアンロックする)

解　説

本品はリモコン操作によって簡単にセキュリティのON/OFFが行なえます。
ここでは、セキュリティをOFFする場合の操作方法を解説します。

手　順

① リモコンの『OFF/ 🔑 』ボタンを「カチッ」と押して離します。



参考 ポケットの中などでの誤操作を防止するため、 短時間（0.2秒未満）のボタン操作や複数ボタンの同時押しは受付けません。

参考 3秒以上『OFF/ 🔑 』ボタンを押し続けると、キー操作ロック機能が働きますのでご注意ください（→P16）。

② 液晶表示部に次のような表示が行なわれます。

③ 同時に本体のサイレンが「ピッピッ」と鳴り、セキュリティがOFFになります。
ドアロック配線を行なっている場合はドアがロックされます。

セキュリティON中に警報履歴がある場合は、サイレンが「ピッピッピッ」と3回鳴って、警報があった事を知らせます（警報メモリー機能）。

これでセキュリティがOFFになりました。

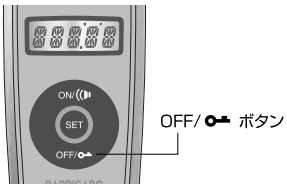
リモコンのボタン操作を無効にする（キー操作ロック機能）

解　説

本品はリモコンのボタン操作をロックして、不意の誤操作を防止することができます。

設定方法

① リモコンの『OFF／🔑』ボタンを3秒以上押し続けます。



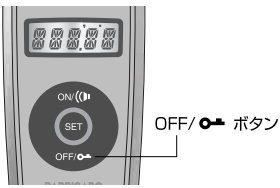
参考 3秒未満でボタンから指を離すと、セキュリティOFF操作（→P15）となりますのでご注意ください。

② 液晶表示部にHOLDの文字が表示されます。

これでボタン操作が無効になりました。

解除方法

① 設定時と同様に、リモコンの『OFF／🔑』ボタンを3秒以上押し続けます。



② 液晶表示部にHELLOの文字が表示されます。

これでボタン操作が可能になりました。

強制的にサイレンを鳴らす（パニックアラーム）

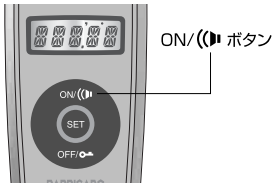
解　説

本品はリモコンから強制的にサイレンを鳴らすことができます（パニックアラーム機能）。ここでは、パニックアラームの操作方法を解説します。

参考 本品のサイレンは、約120dBの大音量を発するため、人やペット・動物などの至近距離で作動させると聴覚障害等の原因となる可能性があります。 絶対にイタズラ目的では使用しないでください。

手　順

① リモコンの『ON/(( ))』ボタンを3秒以上押し続けます。



参考 3秒未満でボタンから指を離すと、セキュリティONの操作となりますのでご注意ください。

② 液晶表示部に次のような表示が行なわれます。

③ 本体のサイレンが強制的に30秒間鳴ります。

参考 パニックアラームが停止した後、セキュリティのON/OFF状態は操作前のまま保たれています。

参考 誤ってサイレンを鳴らした場合など途中で停止するには、セキュリティONまたはOFFの操作を行なってください（→P14・15）。

セキュリティを強制解除する

解　説

万一、リモコンでセキュリティOFFの操作ができなくなった場合は、強制解除スイッチを使用することでセキュリティをOFFにすることができます。

参考 防犯上、強制解除スイッチは他人に知られない場所に取付けてください。

操作方法

① セキュリティONの状態で強制解除スイッチを1秒以上押します。

② 一旦セキュリティがOFFになります。

※再度セキュリティをONにするには、リモコンでセキュリティONの操作する必要があります。

センサー反応時の動作について ①

解　説

本品は、センサーの反応に応じた様々な警報パターンがあります。
本品を最大限に活用して頂くために、本項の内容をよくお読みになった上でお使いください。
※このページに記載されている動作は、セキュリティレベルがNORMALの場合の動作です。

センサー反応時の動作

	サイレンの鳴り方
(1)微衝撃センサー反応時	ピ ピ ピ ピ
(2)高衝撃センサー反応時	約2秒間のサイレン音
(3)傾斜センサー反応時	約30秒間のサイレン音
(4)ドアセンサー反応時	約30秒間のサイレン音
(5)イグニッションONセンサー反応時 ※イグニッション検出設定(→P25)を"B"にした場合のみ	約30秒間のサイレン音
(6)ボンネットセンサー反応時（オプション） ※別途セキュリティ拡張BOX(品番:SQ209)が必要です。	約30秒間のサイレン音
(7)その他のオプションセンサー反応時 ※別途セキュリティ拡張BOX(品番:SQ209)が必要です。	OP1(注意)…ピピピピ OP2(警告)…約2秒間のサイレン音 OP3(撃退)…約30秒間 のサイレン音

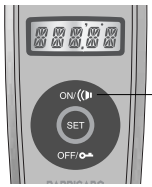
参考 微衝撃センサーが連続して反応し続けた場合、本体が異常と判断して一時的に反応をキャンセルします(誤動作防止機能)。

センサー反応時の動作について ②

サイレンを途中で止めるには

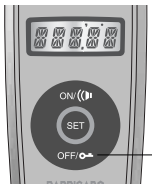
● リモコンの『ON／((』ボタンを「カチッ」と押して離します。
※セキュリティONの状態でサイレンが停止します。

参考 3秒以上『ON/((』ボタンを押し続けると、パニックアラームが動作しますのでご注意ください（→P17）。



● または、リモコンの『OFF/ 』ボタンを「カチッ」と押して離します。
※セキュリティOFFの状態でサイレンが停止します。

参考 3秒以上『OFF/電源』ボタンを押し続けると、キー操作がロックされます（→P16）。



いろいろな機能を設定する

この項では、セキュリティレベルの切替えやセンサー感度の調整など、
本品をより便利に使うための設定方法を解説しています。

ページ

セキュリティレベルを切り替える ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

ショックセンサーの感度を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

傾斜センサーの感度を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

イグニッションONセンサーの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

チャープ音（セキュリティON・OFF時のサイレン音）の設定 ・・・・・・・・ 26

ディレイタイム（センサーONまでの待機時間）の設定・・・・・・・・・・・・・・ 27

セキュリティレベルを切り替える 出荷時設定=NORMAL

※本体との通信ができない場所では本設定は行なえません。

解　説

本品は使用する環境に合わせてセキュリティレベルを切り替えることができます。
この設定はセキュリティのON・OFFに関わらず行なえます。

■セキュリティレベル毎の機能一覧表

セキュリティレベル	微衝撃センサー	高衝撃センサー	傾斜センサー	ドアセンサー	イグニッションONセンサー	ボンネットセンサー（オプション）	オプションセンサー（OP1・OP2）	オプションセンサー（OP3）	スターターカット
NORMAL（標準設定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ROAD（路上駐車モード）	ー	ー	○	○	○	○	ー	○	○
TOWER（立体駐車場モード）	ー	ー	ー	○	○	○	ー	○	○
VALET（バレーモード）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○

参考 微衝撃センサーを作動させず、高衝撃センサーのみ作動させたい場合などは、作動させたくないセンサーの感度を"0"に設定してください（→P23・24）。

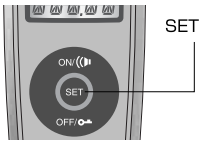
活用例

- ●全てのセンサーを活用する場合 ・・・NORMAL
- ●交通量の多い場所など、衝撃センサーを働かせたくない場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ROAD
- ●タワー式駐車場など、衝撃センサーと傾斜センサーを働かせたくない場合 ・・・・・・・・・・・TOWER
- ●センサーを全てOFFにし、乗り逃げ防止のスターターカット機能だけを使用する場合 ・・・ VALET

操作方法

※設定状態によって表示内容は異なります。
※途中で設定をやめる場合は、何も操作せずに約10秒待つことで操作前に戻ります。

① 『SET』ボタンを3秒以上押し続けます。

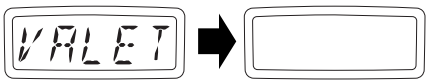


② リモコンに右図のような表示が行なわれます。

③ 『SET』ボタンを押すと、現在リモコンに設定されているセキュリティレベルが表示されます。

④ 『ON/』ボタンまたは『OFF／』ボタンを押して、希望のセキュリティレベルに合わせます。

⑤ 最後に『SET』ボタンを押して、本体へ設定内容を送信します。



参考 アンテナユニットが信号を受信した場合は、アンテナユニットのブザーが鳴り、同時に防犯LEDが光ります。

ショックセンサーの感度を調整する 出荷時設定=8

※本体との通信ができない場所では本設定は行なえません。

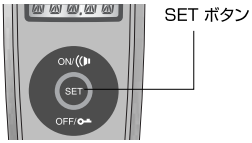
解　説

本品はリモコンで簡単にショックセンサーの感度が調整できます。
感度調整は微衝撃センサー・高衝撃センサーそれぞれ独立して行なうことができます。
この設定はセキュリティのON・OFFに関わらず行なえます。

操作方法

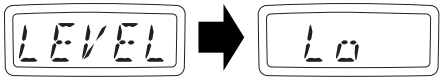
※設定状態によって表示内容は異なります。
※途中で設定をやめる場合は、何も操作せずに約10秒待つことで操作前に戻ります。

① 『SET』ボタンを3秒以上押し続けます。



② リモコンに右図のような表示が行なわれたら、「ON/((」ボタンを1回または2回押し、
ショックセンサーの感度調整モードに切替えます。

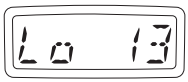
Lo・・・微衝撃センサーの感度調整
HI・・・高衝撃センサーの感度調整



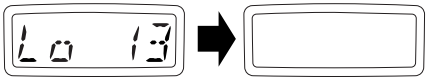
※『ON/((』ボタンを押し過ぎた時は、『OFF/ 』ボタンを押す
ことでひとつ前に戻すことができます。

③ 『SET』ボタンを押すと、現在リモコンに設定されている感度が表示されます。

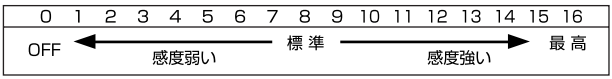
④ 『ON/((』ボタンまたは『OFF／ 』ボタンを押して、
数字を上下させ、希望の感度に合わせます。



⑤ 最後に『SET』ボタンを押すと、本体へ設定内容を送信します。



●感度について
数字が大きいほど、感度が強くなります。



●微衝撃センサーと高衝撃センサーの調整バランスについて（目安）
本品のショックセンサー感度は、おおよそ下図のような調整範囲を持っています。また、微衝撃センサーと高衝撃センサーが両方とも反応した場合は、高衝撃センサーの反応のみが優先されます。このため、微衝撃センサーを低めの設定（1や2など）にし、高衝撃センサーを高めの設定（15や16など）にした場合、微衝撃センサーが反応せず、高衝撃センサーのみが反応する設定となります。

微衝撃センサー	0　1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
高衝撃センサー	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
	OFF　弱い（反応しにくい）　強い（敏感に反応する）

参考 アンテナユニットが信号を受信した場合は、アンテナユニットのブザーが鳴り、同時に防犯LEDが光ります。

参考 車体などに衝撃を与えてショックセンサー感度を確認する際は、セキュリティONの後、5秒以上経過してから行なってください。

傾斜センサーの感度を調整する 出荷時設定=2

※本体との通信ができない場所では本設定は行なえません。

解　説

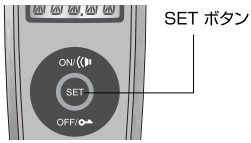
本品は使用する環境に合わせてセキュリティレベルを切り替えることができます。
この設定はセキュリティのON・OFFに関わらず行なえます。

参考 本品の傾斜センサーはセキュリティON時の位置を0度（基準値）と認識しますので、 坂道など傾きのある場所に駐車した場合などでも使用できます。

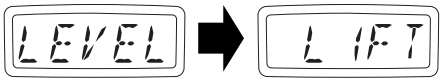
操作方法

※設定状態によって表示内容は異なります。
※途中で設定をやめる場合は、何も操作せずに約10秒待つことで操作前に戻ります。

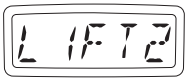
① 『SET』ボタンを3秒以上押し続けます。



② リモコンに右図のような表示が行なわれたら、『ON/』ボタンを3回押して傾斜センサーの感度調整モードに切り替えます。
※『ON/』ボタンを押し過ぎた時は、『OFF/』ボタンを押すことでひとつ前に戻すことができます。



③ 『SET』ボタンを押すと、現在リモコンに設定されている感度が表示されます。



④ 『ON/』ボタンまたは『OFF／』ボタンを押して、数字を上下させ、希望の感度に合わせます。

●感度について

数字が大きいほど、感度が強くなります。

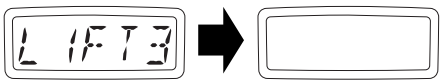
0	1	2	3
『OFF』	◀		▶
	感度弱い	（標 準）	感度強い

●反応する角度の目安

本体の取付方法によって変化します。

感度	反応角度
3	約1.2度
2	約1.8度
1	約2.4度
0	反応しません

⑤ 最後に『SET』ボタンを押して、本体へ設定内容を送信します。



参考 アンテナユニットが信号を受信した場合は、アンテナユニットのブザーが鳴り、同時に防犯LEDが光ります。

参考 実際にジャッキアップするなどして感度を確認する際は、セキュリティONの後、5秒以上経過してから行なってください。

イグニッションONセンサーの設定 出荷時設定=A

※本体との通信ができない場所では本設定は行なえません。
※付属の電源コードで接続している場合はイグニッション線の配線が必要です。

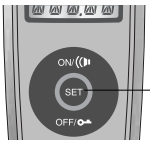
解　説

本品はセキュリティON中に不正にイグニッションがONになった事を検出し、乗り逃げ等を防ぐためのイグニッションONセンサーを使用することができます。

操作方法

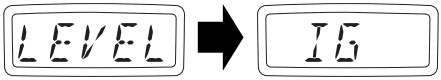
※設定状態によって表示内容は異なります。
※途中で設定をやめる場合は、何も操作せずに約10秒待つことで操作前に戻ります。

① 『SET』ボタンを3秒以上押し続けます。



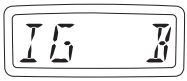
② リモコンに右図のような表示が行なわれたら、『OFF/🔑』ボタンを3回押してイグニッションONセンサーの設定モードに切替えます。

※『OFF/🔑』ボタンを押し過ぎた時は、『ON/((』ボタンを押すことでひとつ前に戻すことができます。



③ 『SET』ボタンを押すと、本体との通信を行ない、現在リモコンに設定されているモードが表示されます。

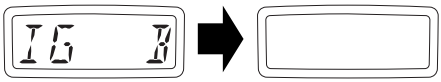
④ 『ON/((』ボタンまたは『OFF／🔑』ボタンを押して、希望するモードに合わせます。



●設定の説明

モード	設　定	動 作 内 容
Aモード	イグニッションONセンサーを使用しない場合	イグニッションONセンサーは働きません。
Bモード	イグニッションONセンサーを使用する場合	セキュリティON中にキーでエンジンを掛けようとすると、30秒間サイレンを鳴らします。

⑤ 最後に『SET』ボタンを押すと、本体へ設定内容を送信します。



参考 アンテナユニットが信号を受信した場合は、アンテナユニットのブザーが鳴り、同時に防犯LEDが光ります。

参考 実際に動作を確認する際は、セキュリティONの後、5秒以上経過してから行なってください。

チャープ音（セキュリティON-OFF時のサイレン音）の設定 出荷時設定=ON

※本体との通信ができない場所では本設定は行なえません。

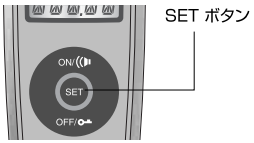
解　説

本品はリモコンで簡単にチャープ音の有無が設定できます。
この設定はセキュリティのON・OFFに関わらず行なえます。

操作方法

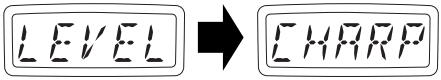
※設定状態によって表示内容は異なります。
※途中で設定をやめる場合は、何も操作せずに約10秒待つことで操作前に戻ります。

① 『SET』ボタンを3秒以上押し続けます。



② リモコンに右図のような表示が行なわれたら、『OFF/ 』ボタンを2回押してチャープ音の設定モードに切り替えます。

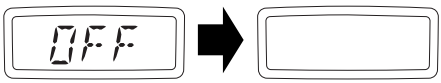
※『OFF/ 』ボタンを押し過ぎた時は、『ON/ 』ボタンを押す ことでひとつ前に戻すことができます。



③ 『SET』ボタンを押すと、現在のリモコンに設定されているモードが表示されます。

④ 『ON/ 』ボタンまたは『OFF／ 』ボタンを押して、設定を変更します。

⑤ 最後に『SET』ボタンを押して、本体へ設定内容を送信します。



参考 アンテナユニットが信号を受信した場合は、アンテナユニットのブザーが鳴り、同時に防犯LEDが光ります。

ディレイタイム（センサーONまでの待機時間）の設定 出荷時設定=5秒

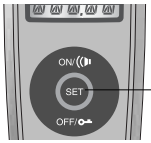
解　説

本品はリモコンで簡単にセキュリティONからセンサーがONになるまでの待機時間が設定できます。
この設定はセキュリティのON・OFFに関わらず行なえます。

操作方法

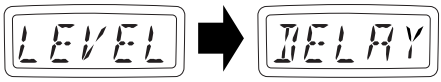
※設定状態によって表示内容は異なります。
※途中で設定をやめる場合は、何も操作せずに約10秒待つことで操作前に戻ります。

① 『SET』ボタンを3秒以上押し続けます。



② リモコンに右図のような表示が行なわれたら、『OFF/🔑』ボタンを1回押してディレイタイムの設定モードに切り替えます。

※『OFF/🔑』ボタンを押し過ぎた時は、『ON/((』ボタンを押す ことでひとつ前に戻すことができます。

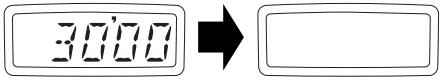


③ 『SET』ボタンを押すと、現在のリモコンに設定されているモードが表示されます。

④ 『ON/((』ボタンまたは『OFF／🔑』ボタンを押して、設定を変更します。

参考 ディレイタイムは、5秒・1分・3分・5分・15分・30分・60分の中から選択できます。

⑤ 最後に『SET』ボタンを押して、本体へ設定内容を送信します。



参考 アンテナユニットが信号を受信した場合は、アンテナユニットのブザーが鳴り、同時に防犯LEDが光ります。

取付後のメンテナンスなど

この項では、消耗品パーツの交換や故障と思われる際のトラブルシューティングなど、
本品を長くご愛用いただくために必要な情報を解説しています。

ページ

リモコンIDの登録方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

リモコンの電池交換について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

故障かな?と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

リモコンIDの登録方法

※本体との通信ができない場所では本設定は行なえません。

⚠注意 **あらかじめ使用する全てのリモコンおよびワイヤレスランプセンサー2（別売）をご用意ください。**

解　説

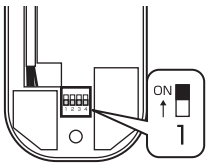
本品は別売のスペアリモコン（品番:SQ114）及びワイヤレスランプセンサー2（品番:SQ208）を標準装備のリモコンを含んで最大5台まで使用することができます。

操作方法

※セキュリティをOFFにしてエンジンが停止した状態で操作してください。
※この操作は5分以内に完了するようにしてください。

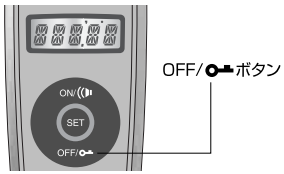
① セキュリティがOFFである事を確認してから、アンテナユニット裏の設定スイッチNo.1「ID書込」をONにします。
（アンテナユニットのLEDが点灯します。）

※設定スイッチの切替は、つまようじ等先端の柔らかいもので行なってください。
㊀ ドライバーなど先端が金属のものを使用すると破損する原因となります



アンテナユニット裏面

② 『OFF/🔑』ボタンを「カチッ」と押して離します。



③ 登録が完了するとアンテナユニットのLEDが約3秒間消灯し再び点灯します。

④ 別売のスペアリモコン（SQ114）を追加する場合は、続けてスペアリモコンのOFF/🔑ボタンを押します。
※ワイヤレスランプセンサー2（SQ208）を追加する場合は、ランプセンサーのID送信ボタンを押します。

⑤ 登録が完了するとアンテナユニットのLEDが約3秒間消灯し再び点灯します。

⑥ SQ114および SQ208を複数台使用する場合は④ー⑤の操作を繰り返してください。

⑦ アンテナユニット裏の設定スイッチNo.1「ID書込」をOFFにします。

リモコンの電池交換について

解説

本品の電池寿命（CR1616×2ヶ）は、常温時において1日4回の使用で約1年間です。
電池が消耗すると、送信距離が短くなったり、操作ができなくなることが考えられますので、定期的な電池の交換をおすすめします。また、出荷時にあらかじめリモコンに入っている電池はモニター用につき、通常より電池寿命が短くなる場合があります。
※本品に使用する電池（CR1616×2ヶ）は、カメラ店や電器店などでお買い求め頂けます。

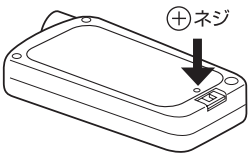
⚠注意 電池交換の際は、2ヶの電池を共に新しい電池と交換してください。
古い電池と新しい電池を混ぜて使用すると液漏れ等の原因になりますので絶対に行なわないでください。

参考 リモコンの電池容量が不足してくると、リモコン操作時に液晶表示が不安定になります。このような状態になったら、あらかじめ早めに電池交換を行なっておいてください。

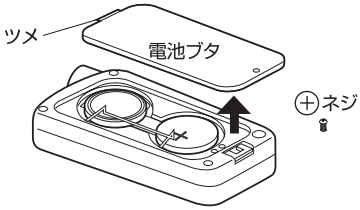
電池の交換方法

※交換時は非常に小さいネジを外します。万一落とした場合に紛失しないよう、できるだけ室内での作業をおすすめします。

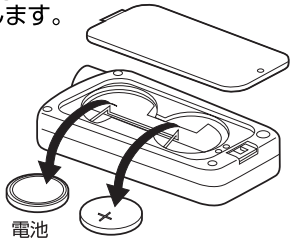
❶ 精密ドライバーを使用し、リモコン裏面の電池ブタ部分にある ⊕ ネジを外します（ネジの紛失に注意）。



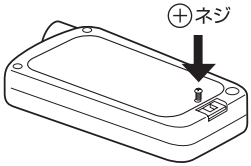
❷ 電池ブタを上に持ち上げて外します。



❸ ⊕ ⊖ の方向に注意して電池を交換します。



❹ 電池ブタを戻し、❶ で外したネジで止めます。



使い終わった電池は

使い終わった電池は、各自治体が定める方法で処理してください。

故障かな？と思ったら

	症　状	解　説	参照ページ
リモコンについて	リモコンが操作できない	リモコンの電池が切れていませんか？ リモコンの電池を交換してから操作してください。	P31
		リモコンのキー操作ロック機能が働いていませんか？ キー操作ロック機能を解除してください。	P16
	近距離にも関わらず、通信できない	本体のヒューズが切れていませんか？ 配線を再確認してから市販の新しいヒューズに交換してください。	–
		本体がID登録モードになっている可能性があります。アンテナユニットのLEDが点灯しつづけていないことを確認してください。	P30
		何らかの理由で、本体に記憶されているリモコンIDが消失している可能性があります。IDの登録方法に従ってリモコンIDを書き込んでください。	P30
	リモコン操作時、液晶ディスプレイが表示されるまでに時間がかかる。	液晶の特性上、低温時の表示には多少時間がかかる場合があります。リモコン内部の温度が上昇すれば表示は元に戻ります。	–
	液晶表示が暗くなったり不安定な状態になる。	リモコンの電池が消耗していると思われます。 電池を交換してください。 また、低温になる場所にリモコンを置いておくと、一時的に電池電圧が低下してリモコンの表示が薄くなる場合がありますが、常温になれば元に戻ります。	P31

	症　状	解　説	参照ページ
セキュリティ機能について	車を叩いてもショックセンサーが反応しない	2段階ショックセンサーの感度調整が弱すぎる恐れがあります。 適切な感度になるように感度を強めてください。	P23
		アンテナユニットはしっかり固定されていますか?固定されていない場合は、車両内装部分にしっかりと取付けてください。	–
		セキュリティレベルの切替は適切ですか? セキュリティレベルをNORMALなどに切り替えてください。	P22
		イグニッションがONになっていませんか?ショックセンサーはイグニッションOFFの状態でしか作動しません。	–
		ディレイタイム（セキュリティON操作後、センサーが検出を開始するまでの時間）の設定値を確認してください。	P27
		微衝撃センサーは、連続して反応すると内蔵のマイコンが誤動作と判断し、一時的に検出をキャンセルします。	–
	2段階ショックセンサーが反応しない時がある	2段階ショックセンサーに連続して衝撃を加えた場合、1回反応してから約3.5秒間は次の警報を行なわないようになっていますが異常ではありません。	–
	ドアを開けてもサイレンが鳴らない	残光機能付きの車両の場合、セキュリティをONにしてからルームランプやキーリング照明などが消えてからでなければ、ドアセンサーが働きません（残光対応機能）。	–

故障かな？と思ったら

	症　状	解　説	参照ページ
セキュリティ機能について	何も異常が無いのに警報が鳴る	2段階ショックセンサーの感度調整が強すぎる恐れがあります。 適切な感度になるように感度を弱めてください。	P23
		温度変化などにより車両の内外装パーツ（特に樹脂部品の勘合部）が膨張・収縮して2段階ショックセンサーが反応している可能性があります。	－
		アンテナユニットの取付状態（ユニット及びコードがしっかり固定しているか）を確認してください。正しく固定してない場合は正常なセンシングが行なえません。	－
		車上荒らし・車両窃盗犯がセキュリティを解除させる目的で、特に夜間、故意に車両に衝撃を与えて様子を伺う事例が報告されていますのでご注意ください。 ※ご自分で犯人を捕まえようとする行為は大変危険です。このような場合は、警察に相談されることを強くおすすめします。	P23
	スターターカット機能が作動しない	本品のスターターカット機能は、別売の車種別専用ハーネスで取付けた場合のみ作動します。 付属の電源コードで取付けている場合は、スターターカット機能は作動しません。	－

	症　状	解　説	参照ページ
その他の症状	ドアロック機能が使用できない	ドアロック機能はドアロック適合車種のみ使用可能です。また、ドアロック機能を使用するには別途ドアロック配線が必要となりますのでご注意ください。	－
		ドアが開いているとドアロックモーターが作動しない車種がありますので、必ず全てのドアを閉めてからドアロックの操作を行なってください。	－
	キーによるエンジン始動ができない	本品の「スターターカット機能」が働いていませんか？ ドアのアンロック操作を行なってスターターカット機能をOFFにしてから再度始動を試みてください。	P15
		車種別専用ハーネスで取付けた場合、取付ハーネスが緩んでいたり、本品のメインユニットが接続されていない場合、キーによるエンジン始動ができなくなります。 接続が確実に行なわれているかどうか確認してください。	－
	ドアをアンロックすると車両の純正ホーンが鳴る	純正のセキュリティアラームなどが装備されている車両の場合、純正リモコンドアロックでドアをロックした後、本品でドアアンロックを行なうと、純正セキュリティアラームが鳴る場合がありますが故障ではありません。 このような車両の場合、ロック操作とアンロック操作を同一のリモコンで行なう必要があります。	－
	その他、動作が不安定な場合	ハーネスのアースコードが確実なアースポイントに接続されているか確認してください。	－

memo

memo

memo

memo

仕　様

技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
使用周波数	426MHz帯の10波のうち1波を使用
通信方式	単向通信方式
送信出力	1mW
送信時間	5秒以内
送信休止時間	2秒以上

■リモコン

外形寸法	53.2x30.0x14.1（mm）アンテナ部除く
重量	約20g
使用電池	CR1616×2ヶ
電池寿命	約1年 （1日4回の送信を行なった場合）
作動温度範囲	0℃ ～ +60℃

■メインユニット

外形寸法	66x139x27（mm） （突起部除く）
重量	約170g
電源電圧	DC12V
消費電流	約10mA（待機時）
作動温度範囲	−20℃ ～ +70℃

■アンテナユニット

外形寸法	69.5x42.5x30.0（mm）
重量	約50g
コード長	約1.5m
作動温度範囲	−20℃ ～ +70℃

保　証　書

保証規定

1.保証期間内（お買上げ日より1年間）に、正常なご使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2.次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
（イ）本保証書のご提示がない場合
（ロ）使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
（ハ）お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
（ニ）火災、地震、水害、異常電圧、公害、指定外の使用電源（電圧・周波数）及びその他天災、地変などによる故障及び損傷
（ホ）本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。但し、お買上げ日、販売店名はレシートで可
（ヘ）外観部分の損傷
（ト）電池寿命
3.不正改造車に取付けされた場合は保証対象外です。
4.製品・部品・付属品を紛失された場合は保証対象外です。
5.修理は、お買上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。
6.本保証書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。
7.本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only for service in Japan.

CAR MATE 株式会社カーメイト
本社 /〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11　TEL.03-5926-1216（代表）

アフターサービスについて

商品についての問い合わせ・補修パーツのご注文は、下記サービスセンターへ。

カーメイトサービスセンター　セキュリティ・スターター専用ダイヤル

Tel: 03-5926-1216（代表） Fax: 03-5926-1218

パソコンから：http://www.carmate.co.jp/toi/
携帯電話から：http://www.carmate.co.jp/
携帯メールから：mobile@carmate.co.jp

株式会社カーメイト http://www.carmate.co.jp/
〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11